

## さいたま市障害者総合支援計画案について

### 1 パブリック・コメントについて

(1) 実施期間 令和2年10月5日～11月6日

(2) パブリック・コメント結果

意見提出者 31人、意見件数 122件

(3) パブリック・コメントにおける主な意見

詳細は資料3「さいたま市障害者総合支援計画（素案）」に対するパブリック・コメント一覧のとおり

### 2 次期障害者総合支援計画に対する主な意見

意見項目	意見概要	計画における施策
新型コロナウイルス感染症について (P. 4)	<p>【パブリック・コメント等】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、いわゆる新しい生活様式が求められる中で、社会の変化に対応するための新しい支援策を追加してほしい。特に、ICT、オンライン等を活用した各種相談・申請体制を整備してほしい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に関することにつきましては、本計画上の位置付けや記載の有無にかかわらず、全ての事業において、必要に応じた配慮や支援を講じるなど、柔軟かつ適切な施策の推進を図ることとします。</p> <p>【素案を修正】</p>
障害者の権利擁護に関する周知啓発及び理解と交流の促進 (P. 63)	<p>【パブリック・コメント等】</p> <p>障害者が地域で暮らしていくために、子どもの頃からの教育に取り組むとともに、民間事業者等に対し、差別や偏見をなくしていく施策が必要。</p> <p>【市民会議等】</p> <p>見た目ではわかりづらい障害（高次脳機能障害、発達障害、内部障害など）について、周知・啓発が足りない。</p>	<p>改めて、「ノーマライゼーションカップ」、及び「「障害者週間」市民のつどい」を計画に位置付け、様々な障害、及び障害者に対する理解や、ノーマライゼーションの理念の更なる普及啓発に取り組みます。</p> <p>また、開催にあたっては、学齢期からの啓発の重要性に鑑み、内容の充実を図ります。</p> <p>【素案を修正】</p>
高次脳機能障害に関すること (P. 78)	<p>【パブリック・コメント等】</p> <p>高次脳機能障害者について、当事者及び家族等に対する新たな支援策を計画に盛り込んでほしい。</p>	<p>ピアサポート活動の重要性に鑑み、令和3年度から実施するピアサポート養成講座を計画に位置付け、高次脳機能障害者及び家族等に対する支援の充実を図ります。</p> <p>【素案を修正】</p>

<p>グループホームの整備の促進 (P. 81)</p>	<p>【パブリック・コメント等】 グループホームが不足している。特に、医療的ケアや強度行動障害などの重度障害者が利用できるホームを整備する必要がある。</p> <p>それぞれのグループホームの実態をしっかりと把握し、適切な指導をしてほしい。</p>	<p>今年度実施したグループホームへの入居希望調査の結果を踏まえ、令和5年度までの3年間で、1,120人分の定員を確保することといたします。</p> <p>また、国庫補助金を活用し、様々な障害特性に対応したグループホームの整備を進めます。</p> <p>【素案を修正】</p> <p>障害福祉サービス事業所等の職員を対象にした研修を通じ、様々な障害特性に応じた支援や配慮等について、理解啓発を図ります。</p>
<p>相談支援体制の充実 (P. 83)</p>	<p>【パブリック・コメント等】 相談体制の充実について、地域部会等を活用して課題の解決に取り組むには、障害者支援センター、基幹相談支援センターだけではなく、行政機関等の関係機関との連携・協力体制がないと実現は難しい。地域性は活かしつつ、区ごとに相談支援に関する質の差がないように、取り組んでほしい。</p>	<p>地域自立支援協議会の地域部会等を活用しながら、関係機関が相互に連携し、地域の実情に応じた支援体制の構築に取り組んでまいります。</p>
<p>福祉の複合的な課題に係る相談支援体制の充実 (P. 84)</p>	<p>【パブリック・コメント等】 福祉の複合的な課題に係る相談支援体制を10区に拡充してほしい。</p> <p>また、実施してみてもわかることも多いため、長期で評価していく視点が必要。</p>	<p>モデル事業における効果検証や課題の整理を行いながら、包括的な支援体制の全区拡大に向けて段階的に取り組んでいくこととします。</p> <p>【素案を修正】</p>
<p>障害福祉分野に関わる人材確保・職場定着支援 (P. 86)</p>	<p>【パブリック・コメント等】 訪問系サービス事業所、グループホーム、相談支援事業所等、障害福祉分野に関わる人材が不足している。職員の待遇改善のために市独自の補助を行うなど、人材を確保するための施策を行ってほしい。</p>	<p>障害福祉サービス事業所等と連携し、障害福祉の魅力を発信する就職面談会を実施するなど、障害福祉分野に関わる人材の確保に努めてまいります。</p> <p>職員の待遇改善については、二十一大都市心身障害者（児）福祉主管課長会議などを通じ国に対し要望を行っており、今後も引き続き要望を行ってまいります。</p>

<p>障害者の 就労支援 (P. 93)</p>	<p>【パブリック・コメント等】 障害者総合支援センターを拠点とした就労支援の充実の成果指標「企業開拓により、事業者が新規に障害者雇用を始めた件数」について、目標値が少ないので増やしてほしい。</p> <p>視覚障害者にとっては、国や県等の適切な専門機関につないでいただき、適切な支援が受けられることが、就労への第一歩である。計画にあるとおり、確実に適切な専門機関につないでほしい。</p> <p>【市民会議等】 障害者優先調達の推進について、全庁的に取り組むとあるが、成果指標がないため、成果指標を設定してほしい。</p>	<p>ハローワークや埼玉県障害者雇用総合サポートセンターなどの関係機関と連携し、障害者雇用の実績のない民間事業者を訪問し、障害特性に応じた適切な支援や配慮等について理解をいただくことで、より多くの事業者の障害者雇用に結びつけてまいります。</p> <p>視覚障害者に対する就労支援については、これまでどおりフローを活用して、つなぐ支援を行ってまいります。</p> <p>改めて、障害者就労施設等からの優先調達を全庁的に積極的に取り組むこととして、成果指標を設定します。 【素案を修正】</p>
<p>バリアフリー化の 推進 (P. 96)</p>	<p>【パブリック・コメント】 ハード面だけでなく、体験型の教室を実施するなど、ソフト面に関する施策を行ってほしい。</p>	<p>ハード面の整備を行うだけでなく、バリアフリー体験等を通じ、支え合いの心を醸成することで、誰もが安心して快適に活動できるまちづくりを推進します。 【素案を修正】</p>
<p>障害者の 危機対策 (P. 104)</p>	<p>【パブリック・コメント等】 防災対策の推進について、令和元年度台風19号による被害、新型コロナウイルス感染症対策等を踏まえ、大規模災害を想定した日常の連携体制づくりなどを早急に進めることが必要。</p> <p>福祉避難所の機能の強化について、開設・図上訓練を実施するだけでなく、当事者避難訓練の実施が必要。</p>	<p>コロナ禍での災害対策については、分散避難の呼びかけや、避難所における感染症対策のためのマニュアル作成、衛生用品の配備等により対応しております。引き続き、関係機関と連携し、防災対策を推進してまいります。</p> <p>福祉避難所につきましては、災害時に必要に応じて開設する二次避難所として、適切な訓練を実施してまいります。</p>
<p>精神障害者を支える地域包括ケアシステムの構築 (P. 76、110)</p>	<p>【パブリック・コメント等】 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築を推進していくにあたり、精神病床からの退院率等を数値目標とするのは、適切であったのか検証を行い、次期計画では適切な目標値としてほしい。</p>	<p>精神病床からの退院率等を目標値として定めず、訪問支援（アウトリーチ）を通じて蓄積した手法を活かして、医療、福祉等の関係機関との重層的な連携による支援体制の構築を図ることとします。 【素案を修正】</p>